

図書館の職員さんに聞いてみよう！
本のはなし

話題の
新刊本!



(一般書)
青いパステル画の男
著：アントワヌ・ローラン
訳：吉田洋之
出版：新潮社

もしも別の人生を生きられるなら、あなたは どうしますか？骨董品を愛する男が心奪われたのは、自分にそっくりの一枚の肖像画。この出会いをきっかけに、男の運命が大きく動き出します。

(大宇陀図書館所蔵)



(児童書)
おとなになれたら
著：ニキ・コーンウェル
訳：渋谷弘子
出版：文研出版

家族の命を奪われ、難民としてイギリスへ保護を求めて移住した家族の物語です。ひとりの難民も生まれないために、私たちができることはなんでしょうか。戦争をしない、差別をしない。子どもたちの未来を守るために、大切なことを改めて確認させられる一冊です。

(大宇陀図書館所蔵)

図書館からの まめ知識

Vol.110

「令和4年度のベストリーダー」を発表！！

令和4年度に図書館で貸出が多かった本(ベストリーダー)を紹介します。

一般書の1位は、『透明な螺旋』(東野圭吾:著)、2位『子宝船』(宮部みゆき:著)、3位『塞王の楯』(今村翔吾:著)でした。宮部みゆきさんの『子宝船』は、人気作品『きたきた捕物帖』の続編で、江戸が舞台になった、謎解きミステリーの物語です。

児童書では、1位が『香君 上』(上橋菜穂子:著)と『人体のサバイバル2』、『人体のサバイバル3』(ゴムドリコ.:文)の3冊です。絵本の1位は、『みえるとかみえないとか』(ヨシタケシンスケ:作)、2位が『おててをぼん』(ささがわいさむ:作)、『きんぎょがにげた』(五味太郎:作)、『どうぞのいす』(香山美子:作)、『りんごかもしれない』(ヨシタケシンスケ:作)の4作品で、ヨシタケシンスケさんの作品が2作品ランクインし、ユーモアに満ちた絵本が大人気です

どんな本を読めばいいのかわからないときの参考にしてみてはいかがでしょうか。

図書館からのお知らせは P26

森下裕美先生の作品を展示！！

市出身の漫画家 森下裕美先生が、市の観光スポットである室生寺と又兵衛桜と一緒に描かれた、アシベとゴマちゃんの作品を市役所等に展示しています。ぜひお越しください。



▲あきのゆに展示



▲市役所に展示

内牧区民の森「桜見会」記念植樹

4月9日

「内牧区民の森」において、自治会主催による「桜見会」が開催され、新しく枝垂れ桜の植樹が行われました。



平成10年の台風により、壊滅的な被害にあった森を逆転の発想で「きれいな花が咲く桜を植え、毎年みんなで花見を楽しもう」と約30本のソメイヨシノの苗木を植樹されたことが始まりで、今では500本のソメイヨシノが植えられています。

また、「立石」「寝石」「蛇石」と呼ばれる奇石や、自然を周遊できるハイキングコースがあり、市の新パワースポットとして注目を浴びています。

内牧区民が作り上げた、この森にしかないオンリーワンの魅力を創出し、リピーターの拡大や新しい観光客の開拓を進めていくために整備を行っていきます。



室生地域の子どもたちに

室生向洲出身の株式会社オービック 野田順弘会長より平成29年にいただいたご寄付で、室生地域の子どもたちの教育振興や体育施設等の充実を図っております。

今回は、室生中学校体育館に壁掛け時計を購入しました。学校の管理備品として大切に活用させていただいております。

社会福祉功労者感謝状贈呈式

3月30日

長年にわたり、市の地域福祉の増進に努め、その功績が顕著な方および自立更生し、他の模範と認められる方等に敬意を表し、その功績を讃えるため感謝状贈呈式を開催しました。

社会福祉施設の従事者や社会分野等のボランティア、自立更生者や社会福祉関係者等、福祉活動に長年協力と援助をいただきました。またコロナ禍の中であっても創意工夫により地域に密着した活動を継続してこられた個人や団体に感謝状を贈呈しました。感謝状を贈呈した方は次のとおりです。

- 【社会福祉事業従事者】
 - ・社会福祉法人心境荘苑 山本 厚子さん
- 【福祉分野等のボランティア又はボランティアグループ・団体等】
 - ・うだ夢創の里 仲尾 京子 代表
 - ・花クラブ「ひまわり」 勝井 貞夫 代表
- 【自立更生者】
 - ・宇陀市母子寡婦福祉会
 - 古宮 光子さん、中村 幸子さん、竹川 彌子さん
- 【社会福祉関係者及び団体】
 - ・宇陀市遺族会 高岡 美代子さん、西角 恭和さん
 - ・宇陀市老人クラブ連合会
 - 岡野 純さん、西岡 美彦さん
 - 向井 イツ子さん
 - ・宇陀地区保護司会
 - 富田 英一さん
 - ・宇陀地区更生保護女性会
 - 西山 悦子さん
 - 粉川 君江さん



宇陀市と高取町の子どもたちが オンラインで交流

3月10日

榛原西小学校と高取町立たかむち小学校の3年生が、オンラインで自分たちが発見した「町のすてき」を紹介しました。

最初に、たかむち小学校から、薬品工場や漢方薬を扱う薬局などの紹介があり、続いて榛原西小学校の児童が室生寺やあぶらやなどの文化遺産、宇陀金ごぼうやブルーベリーなどの特産品等を紹介しました。画面の向こうの友だちの発表を食い入るように見る児童の瞳が印象的で、互いのまちのよさを再認識できたようです。

これまで、バスなどで移動しなければできなかった学校間交流も、GIGA端末の導入のお陰で、自分の教室でできるようになり、交流の範囲が一気に広がりました。学校での更なる活用が楽しみです。



まちの わだい

コチャン 高取郡 議会議員が訪問 3月15日

有機農業や観光による農村地域の活性化を話し合おうと、韓国 南西部・高取郡の郡議会議員7人が本市を訪問されました。

本市が、農林水産省が提唱し、地域ぐるみで有機野菜を進める「オーガニックビレッジ」宣言を、昨年11月に全国初で行ったことから、視察先選ばれたとのこと。

同郡議員から、若い農業従事者の育成や農村政策、「ふるさと納税」制度等の共通した課題について意見交換をしました。



子どもたちに 絵本の楽しさを

3月19日

図書館では、3年ぶりに子どもが読書活動に親しむための機会を提供するために、榛原総合センターで、「ますだくん」シリーズなどで有名な絵本作家の武田美穂さんの絵本ライブを開催し、約60人の親子が参加しました。

ライブでは、作品の読み聞かせはもちろん、「がんこちゃん」のイラストの描き方のワークショップ、作家のイラスト色紙が当たるジャンケン大会など、人間味あふれる絵本ライブに会場は、子どもから大人まで、大盛り上がりでした。

今後も図書館では、このようなイベントの機会を通じて子どもの読書活動の推進に努めていきます。

